

実施場所	南城市立船越小学校
実施日時	令和6年4月18日(木)
事業の名称	① 「一年生授業参観」 8:10～9:30 のんびりタイム&なかよしタイム ② 「一年生授業参観」の振り返りと意見交換 15:30～16:45
参加者	① 保育施設：玉城こども園、船越認定こども園、バンビ保育園、以和貴保育園、 愛地友遊保育園、むぎの子共同保育園 計11名 ② 県幼児教育班：5名 ③ 島尻教育事務所：1名 行政：教育指導課：6名 健康福祉部：6名 合計29名

子どもの姿(○) 環境構成(◎) 教師の援助(☆)

参観の視点① 一年生が楽しく過ごしている場面(成長が感じられる場面)

◎登園するなりやりたい遊びが十分にあり、中庭もうわばきですぐ行けて、竹馬、一輪車、飼育小屋、鉄棒、など十分な遊び道具や場がある。

☆担任が笑顔で迎え、不安そうにしている子には、かがんで目線を合わせて手を握ってスキンシップをとりながら、友達とつなげる援助をしていた。

○久しぶりに会う園の先生に「コマでこんなのできるよ!」「新しい友達だよ」とうれしそうに話す姿が見られた。

○保育園で楽しんでいたコマ回しを入学後も継続し、他の友達に教えているのに成長を感じた。



視点② のんびりタイム等の環境構成・教師の援助

◎2クラスとも教室の机をコの字型にすることで、子ども達が互いの顔が見えリラックスしていた。

◎廊下のスペースが十分にあり、中庭でも十分に遊べることで、2クラスが混ざって遊んでいる。

◎コマやけん玉は、子どもの人数に対して十分に遊べる数があり、子どもが片付けしやすいように、区分けや写真の表示など、細やかな環境構成の工夫が見られた。

☆なかよしタイムのゲームは、「何する?」などと子どもの声を先生が引き出し、子どもと一緒に楽しんでいるのがよかった。



視点③ その他(気付いたこと・感想)

(校長) 小学校では幼児教育との接続、幼児期の育ちを小学校に繋げることを大事にしている。情報交換を通して互いの理解を深めたい。

(小) 公開授業に向かうまでに、教室から中庭までの遊びの流れや「授業の始まりは校歌を流そう」と担任2人で環境構成等を話し合った。

(小) 給食で好き嫌いへの声の掛け方をどのようにしていますか?

→(幼) 先生に「食べれない」などと困ったことを言えているのがいい。3歳から自分の食べる量が分かってくるので、「へらしてください」と自分で登板に声をかけたり、配膳の際に少なめ・多めと量を分けておいて、自分で選べるようにしている。

(幼) 先生が隣に座ったり、友達がおもしろそうに食べている姿をみてチャレンジする子もいる。

